

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	障害者支援施設検討部会
開 催 日 時	令和7年9月17日（水） 18：00～19：00
記録担当委員	田形 大輔

【協議概要】

(1) 障害者支援施設の視察について（資料1）

- ・ 小平福祉園についてふりかえり、その後障害者支援施設検討のためのアンケート調査結果を踏まえたうえで、新たに視察を検討する施設が2か所提案された。
 - ① リアン文京 公設民営施設、定員40名、対象者は文京区民のみ
 - ② マイルドハート高円寺 公営から民設民営に移行、特養定員180名、障害者支援施設定員10名を併設 身体障害、身体重複の方へ医療的ケアを実施。
- ・ 両施設ともに視察を希望。公設民営の運営についてメリット・デメリットを確認したい。特養と障害者福祉施設の併設についてとても興味がある。
- ・ 以前は特養など多数の入居者待ちがあったと聞いていたが、他県、他市等では入所はスムーズに行えるとのこと。入所待機者等の実態がブラックボックス化しており不透明であるため、実態調査が必要。小金井市に置き換えてみると、土地確保の面からコンパクトな施設が求められるのではないか。
 - 特養と障害者支援施設が併設するメリットとして、職員の応援体制の構築が比較的容易であること、利用者定員数を多く設定している施設ではスケールメリットが生じること、利用者の高齢化についても特養でカバーできること等が考えられる。一方で高齢者施設との合築は介護保険の計画との調整も必要となる。
 - ・ 視察を進めることは賛成だが、選定した施設の情報をまとめ、資料一覧にまとめてることで、施設毎の特徴を把握、イメージしやすくなるのではないか。
 - 視察前に資料一覧を用意し、参考にできるように準備を進める。
 - ・ 多くの利用者を受け入れることを目指すが、資本や土地問題に鑑み、小金井市のコンセプトにマッチした施設を検討するべきではないか。
 - ・ アンケート結果でも不安視されていた、収入面を含む安定した運営方法や支援員の確保など、特養と障害者支援施設を併設する運営スタイルを視察することは有益な情報になるのではないか。
 - ・ マイルドハート高円寺の利用者の中には、母親が特養、子が障害者支援施設に入所といったケースもあるのか。
 - 実際にいるかどうかは確認できていないが、障害者支援施設（入所施設）検討のためのアンケート調査結果によると、市民からそのようなニーズもあった。
 - ・ 大規模または小規模施設の建設であっても地域住民の理解や様々な声に対応する必要があるため、小金井市としてのコンセプトを明確にする必要があるのではないか。
 - 例に挙げた2つの施設以外にも、検討すべき事項について参考となる施設は

他にもあると思われるため、情報収集、提案のご協力をお願いしたい。その後、検討を重ね、年末年始に視察を実行したいと考えている。

- ・ 他にも候補施設があると思うが、まずはリアン文京の視察を実施したい。
→ 先方に確認し、10月・11月を目途に視察の依頼を行う。

(2) 障害者支援施設（入所施設）検討のためのアンケート調査結果について

- ・ アンケートの結果では集計した数値を確認することができたが、当事者の親や支援職員以外の委員の方は、例えば強度行動障害がみられる方の特性や実際の支援現場等は目にする機会も少なくイメージができないと思われるため、何かしらの機会を設けてみてはどうか。
→ 市職員も当事者に接することや支援の現場を目にする機会は少ないので、そのような機会は重要と思う。視察もその機会の一つとしたい。
- ・ 特養との併設等、当初の目的と少しずれているのでは。入所者は100%小金井市民の受け入れを目指したい。職員が集まらないのが現実であり、ヘルパーに至っては急激な人員不足に陥っている。そのような現状ではコンパクトに取り組むべきではないか。
- ・ 次回以降、引き続き検討を重ねていく。

【次回の開催日程】

令和7年11月12日（水）18時から 西庁舎第五会議室